

埋蔵文化財展

主催：読谷村教育委員会

みどり

しょう

碧のサンゴ礁 (パート2)

ぎまかてーばる
～ 儀間片江原の砂丘に住んだ人々 ～

読谷村の西海岸には17箇所の先史遺跡がある。遺跡の前は豊かな海産物を育む碧のサンゴ礁が広がり、内海はイノー（礁池）となっている。片江原貝塚の発掘調査を行ったところ、当時の人々の生活はサンゴ礁と関りが深かったことが分かった。今回、発掘で得られた遺物等を公開し、沖縄貝塚時代の一端を学び、埋蔵文化財保護に関心を高めてもらう。

会期：令和8年4月18日（土）～5月17日（日）

※水曜日は休館

9時～18時（入館は17時30分まで）

会場：世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム企画展示室

入場料：無料（ただし、常設展は有料）

関連講座（受講料無料）

演題：（仮題）貝の道

講師：島袋春美（沖縄考古学会会長）

日時：令和8年5月16日（土曜日）

14時～16時

場所：同館講座室

対象：一般（先着30名）

申込：電話 098-958-3141

又は、右のQRコードでお申込み下さい。

お問い合わせ：文化振興課 電話 098-958-3141

申込QRコード

